

# 参 考

## 事例研究

○平成 26 年度「スクールソーシャルワーカー連絡協議会」では、インシデントプロセス法を活用した事例研究を行いました。

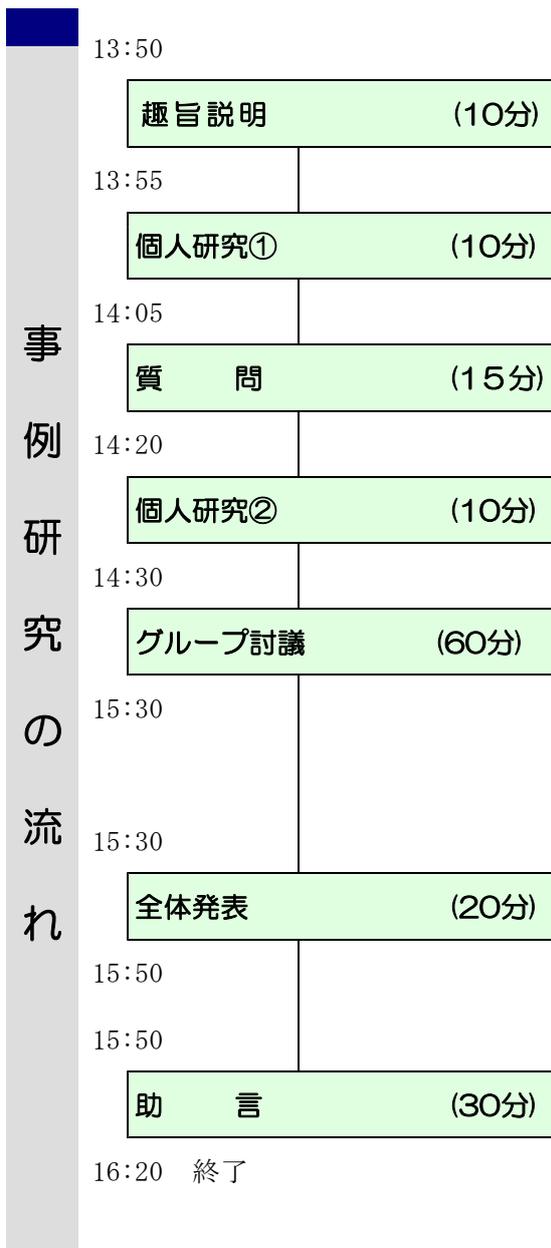
○ここでは、事例研究の流れと道教委の澤 S S W が作成しました事例を紹介します。

# 「インシデントプロセス法を活用した事例研究」 の進め方

## 1 「インシデントプロセス法を活用した事例研究」の目的

- 事例をSSWの立場で考え、問題を解決するための具体的な方策を検討することを通して、①情報を収集する力、②問題行動の発生要因、背景や生徒の心情を把握する力などの向上を図ります。

## 2 「事例研究」の流れ



- ◆ 事例の把握に必要な情報を集めるために、質問を考える。

- ◆ 個人研究①に基づき、質問をする。

- ◆ 問題の発生要因や背景、生徒の心情等を考え、付箋に書き込む。(1枚の付箋に1項目とする。)

- ◆ 問題の要因となった背景、生徒の心情等をまとめる。

- ◆ 問題の発生要因や背景、生徒の心情等を踏まえ、「仮説」をまとめる。

- ◆ 班内で事例を解決するための対策をまとめる。

- ◆ 検討課題について解決策を話し合う。

- ◆ 発表の準備等

- ◆ 班の代表が発表する。(4班5分以内)



# SSW展開事例

(平成26年度第2回スクールソーシャルワーカー連絡協議会事例検討用資料)

2015/1/28

事例作成者：道教委SSW 澤 伊三男

**居住地：**北海道道南Q市（人口3万人程度）

**家族構成：**母親A子 60歳（養母）、本児B男 15歳（中三男子）、  
妹C子 12歳（小6女子：やや知的障害傾向あり）

**生活環境：**A子の戸建て自宅にて生活しており、子どもたちそれぞれの居室も確保されている。  
特にA子と地域とのトラブルはないが、B男によるA子への暴力が激しくなっている。  
他に頼れる親族は見当たらない。B男は近隣を闊歩しており、不審者扱いされている。

**経済状況：**A子は中堅の会社で正規事務職員として稼働しており、年収300万円程度。  
その他児童手当及び児童扶養手当受給中

**生活歴：** B男及びC子の父親はB男4歳のときに父親が突然失踪。母親はひとり親家庭の形で生活を確保していたが、やがて経済的困難、子どもたちに対し虐待が顕著になり、B男6歳の時児童相談所介入により養育困難と判断され、隣町の児童養護施設に子どもたちは入所となる。

その後、母親は接客業等に従事していたようであるが、B男6歳の時（入所前）、単身で札幌に転居その後母親の居住地も不明。

両親不在となり、母親方の祖母であるA子が子どもたちを養子として入籍する。

B男13歳（中一）、C子（10歳（小三））のときA子が引き取り、A子の自宅にて生活することとなり、現在に至る。

## 現状における課題

- 1 母A子（戸籍上の母）に対して、B男が言葉や身体的な暴力を日常的に行い、警察の介入により身体的な暴力はやや減じたが無くなってはおらず、母親も年齢的な衰えもあり身の危険を感じている。しかし、子どもたちへの罪悪感に苛まされている様子も痛々しい。  
B男の主訴は「そんなだらしのない母親を生んだおまえが悪い」「施設にていじめに遭っていたのに助けに来なかった」等が主。
- 2 B男は、最初の頃は運動系のクラブ活動もやり友人もいたが、金銭的なトラブルや約束不履行行動などが重なり友人は一斉に離れ、いじめや学業にもついて行けなくなり、現在は殆ど登校していない。いじめに対しA子もB男をかばっていたが、いじめの対応について学校との間に相互不信感があり、関係性を拒否気味であったが、自分への暴力が激しくなってきたため学校側に相談をするようになってきた。
- 3 C子はおとなしい子であるが、六年生前半バレー部にて同級生から無視されるなどが顕著になり退部したが、クラス内でも他の児童がいじめに遭っている状況を身近に感じ、勉強についていけなくなったことも重なり、現在は不登校になっている。  
担任は心配し定期的に訪問はある。リストカットの傷跡もあり、SNSに夢中であるとの情報。

## SSWとしての検討課題

- 1 B男からの暴力に対する母親への支援体制の確立—逃げ場所？
- 2 本家族への有効な社会資源及びネットワークはどのようなものが考えられるか—エコロジカル・ソーシャルワークの視点—
- 3 B男及びC子への学力不足、他者不信からの回復、自己肯定感の醸成、エンパワメントの方法
- 4 B男及びC子の不登校からの脱出—学校との具体的な連携のあり方
- 5 特にB男は中三であり、一応進学は希望しているが入学後もついて行けないだろうし、不登校から退学になる可能性が高い。それを防止する方法はないだろうか
- 6 現在は無いが、B男のA子に対する暴力がC子に及ぼす可能性—暴力の連鎖への防止
- 7 支援の優先順位はどうあるべきか

ジェノグラム及びエコマップ

